

## 安全にマリンレジャーを楽しみましょう



これからの季節、釣り、潮干狩り、クルージングなどマリンレジャーを楽しむ方が多くなります。海岸、あるいは沖合いに出掛ける時には、「波（波浪）」の気象台が発表する新しい情報を確かめてから出かけましょう。

波をしばらく見ていると、高い波や低い波があり一様ではないことがわかります。波の状態を表現することが大変難しいことから、気象台では予報として発表する際に「有義波高」（一般には波の高さ）を用いています。

有義波高とは、例えば押し寄せる100個の波の中から、大きい方から順に33個の波を選んで平均した値です。高い波を平均していますが、時折、有義波高の1000回に1回ぐらいには2倍を超えるような波もやってくることもあるので注意が必要です。

また、「波」には「風浪」と「うねり」があります。「風浪」とは、海面上に風が吹くことで起きる波のことで、波が進むスピードよりも風が強いと、波は風に押され大きくなります。「うねり」は、発達した「風浪」が風の吹かない（弱い）地域にまで伝わった波のことをいいます。「うねり」は、規則的で丸みを帯び、沖合いではゆったりと穏やかに見えることもありますが、水深が浅い海岸付近では波が高くなるという性質があります。このため、晴れて穏やかな日でもうねりのため波が急激に高くなることもあり、波にさらわれる事故が起こりやすいので注意が必要です。

最後に、「波浪」と「津波」の違いを説明します。「波浪」は、海面上に吹いている風によって生じるのに対し「津波」は、地震などにより海底地形が変形することで海面がもり上がる、あるいは沈みこむことにより波が周囲に広がって行く現象のことをいいます。「津波」は海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せてきます。このため「津波」は勢いが衰えずに連続して押し寄せるため、浅い海岸付近に来ると急激に波の高さが高くなります。また、津波が引く時も強い力で長時間にわたり引き続けるため、壊れた家屋などを漂流物として一気に海中に引き込みます。

海岸で強い地震を感じたら、「津波」が来るかもしれませんのですぐに安全な場所に避難してください。

**気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台技術課 TEL(0162)23-2678**

※稚内地方気象台ホームページアドレス <http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先 稚内地方気象台防災業務課(電話:0162-23-2679)

## 平成25年度新規採用職員を紹介します



【氏名】荒牧 知子  
【所属】経済課 施設グループ

【一言】  
お役に立てるように、頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。

【氏名】遠藤 亮  
【所属】総務課 企画振興グループ

【一言】  
広報誌の取材などで皆様にはお世話になると思います。頑張りますので、よろしくお願いいたします。



【氏名】藤原 潤  
【所属】教育委員会  
総務学校グループ

【一言】  
まだ社会人として至らぬ点が多々ありますが、誠心誠意、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



【氏名】森本 謙  
【所属】会計課 財政グループ

【一言】  
生まれ育ったこの町を支えられるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

